

寺岡精工「国際物流総合展 2024」に出展

“ハカル”からはじまる物流改革をテーマに
AMR+ピッキングカート+採寸計量器で
入荷から出荷までのトータル物流ソリューションを展示

- 日時 : 2024年9月10日(火)~13日(金) 10:00~17:00
- 会場 : 東京ビッグサイト(東京国際展示場) 東1~8ホール
- 寺岡精工ブース : **東5ホール 5-502**

株式会社寺岡精工(本社:東京都大田区/代表取締役社長 山本宏輔)は、9月10日(火)~13日(金)の4日間、東京ビッグサイトで開催される「第16回 国際物流総合展 Logis-Tech Tokyo 2024」に出展します。

「秤」を祖業とする寺岡精工は、1925年の創業以来培った計量技術を活かし、2010年代より物流現場向けの先進機器を開発しています。物流センター内の入荷から出荷までの工程で、多種多様な物流システムとユニークなソリューションを持ち、DX化推進によって物流現場の課題を解決します。

主な展示製品と見どころ

「“ハカル”からはじまる物流改革」をメインテーマに掲げ、計量器内蔵ピッキングカートや採寸計量器など、秤の技術を応用した最新の機器・システムを出展します。

また本展では、3つの“ハカル(測る・計る・量る)”をキーワードに、新型「AMRピッキングカート」の自律走行デモンストレーションを交えた「物流課題解決プレゼンテーション」を実施します。AMRピッキングカートと自動出荷ラインの組み合わせで、出荷工程全体の作業時間短縮と精度向上を実現し、物流2024年問題対策をご提案します。

入荷から出荷までをトータルサポートし、物流DXを実現するTERAOKAの物流ソリューションを、ぜひ会場でご体感ください。



1. サイズを“測る” 入荷ソリューション

商品のサイズマスターを作成し、容積計算によって梱包箱サイズを最適化

採寸計量器「SIZEGATE(サイズゲート)」は、商品を計量台上載せてゲートをくぐらせるだけで誰でも簡単正確に計測を完了し、サイズ・重量・写真データをWMSなどのシステムに登録できる採寸計量器です。商品サイズを正しく把握することで最適な梱包箱を選択でき、棚の保管効率やトラックの積載効率向上に繋がります。

登録データを「計量器内蔵ピッキングカート」に連携すると、商品のサイズ情報とオーダー数に応じてオーダー単位での容積計算が可能。あらかじめ最適な梱包箱を選定してからピッキングすることで、ピッキング後の詰め替え作業が不要になります。

また、SIZEGATEで撮影した商品写真がカートのモニターに反映されるため、商品写真と実物を照合しながらピッキングでき、誤ピック防止に繋がります。

採寸計量器「SIZEGATE」



2. 数量を“計る” ピッキングソリューション

重量検品機能を搭載した「AMR 型[※]ピッキングカート」で生産性を向上

人とロボットの協働を実現する AMR に寺岡精工が長年培ってきた重量検品ピッキングのノウハウを融合した、新型「AMR 型ピッキングカート」を初出展します。1 台につき 4 件分の出荷データを受信すると、最適なルートで指定のロケーションまで自律走行。作業スタッフがピッキングを完了すると次のロケーションへ自律走行するため、作業者の無駄な移動を防ぎ、作業負荷軽減や人員配置の最適化を実現します。

また、カート本体に内蔵された秤で商品の重量をチェックしながらピッキングすることで、作業ミスを徹底的に撲滅します。ピッキングと同時に重量検品を行うことで、後工程の検品作業は不要。作業時間短縮にも貢献します。

※Autonomous Mobile Robot：自律走行が可能な搬送ロボット

さらに、業界最多のラインアップを誇る「計量器内蔵ピッキングカート」シリーズから最新機種を出展。大量少品種のオーダーに対応した低床 2 マルチ、少量多品種のオーダーに対応する 8 マルチ、通路幅の狭い環境で活躍する 3 マルチ、部品など小さくて細かいアイテムに対応したカウンティングの 4 タイプから、作業環境や取り扱いアイテム、出荷頻度に応じて最適なシステムを選択いただけます。



AMR 型ピッキングカート



低床 2 マルチ

カウンティング

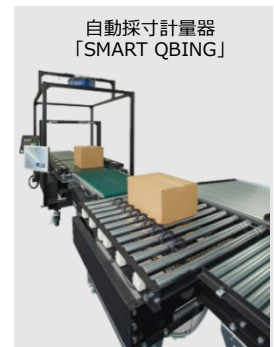
8 マルチ

3 マルチ

3. 重量を“量る” 出荷ソリューション

送り状貼り付け・梱包箱の採寸計量・仕分け作業を自動化

出荷ラインのコンベヤー上で、オートラベラーによる送り状の自動貼付、自動採寸計量器「SMART QBING」による荷物の重量・サイズの採寸計量、そして重量・サイズ・行き先などの情報に応じた仕分けまで、一連の作業を自動化する、出荷の自動化ソリューションです。ヒューマンエラーを防止し、出荷作業を大幅に効率化します。さらに、SMART QBING で計測した荷物の情報を運送会社にデータ連携でき、荷確定にかかる作業を削減。荷主と運送会社の連携を強化し、2024 年問題解決に貢献します。



自動採寸計量器
「SMART QBING」

『16 回 国際物流総合展 Logis-Tech Tokyo 2024』概要

- 会期：2024 年 9 月 10 日（火）～13 日（金）10：00～17：00
- 会場：東京ビッグサイト（東京国際展示場）東 1～8 ホール
- ブース番号：東 5 ホール 5-502

【株式会社寺岡精工 会社概要】

- 本社所在地：東京都大田区久が原 5-13-12
- 創業：1925 年（寺岡式敏感自動バネ秤開発）
- 代表者：代表取締役会長 寺岡和治、代表取締役社長 山本宏輔
- 資本金：1 億円
- 従業員数：連結 3,835 名（2023 年度）
- 主な事業：流通小売、食品製造・加工、製造・物流、飲食・専門店の 4 事業分野およびサポートサービス、クラウドサービスによる精密機器等の開発・製造・販売・保守
- 国内営業・サービス拠点：141 拠点
- HP URL：<https://www.teraokaseiko.com/>
- ロジスティクスソリューションサイト：<https://www.teraokaseiko.com/jp/l/logistics/>



since 1925

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社寺岡精工 ロジスティクスソリューション事業部 高村
Tel: 03-6894-2020 / FAX: 03-3752-1938 / Email: m.takamura@digij.jp
※当日のご連絡は、寺岡精工 高村（070-1276-5118）までお願いいたします。

【画像データダウンロード】

<https://shurl.jp/41mYr>（有効期間：8 月 28 日～9 月 27 日）

【一般の方のお問い合わせ先】

株式会社寺岡精工 お客さま窓口 TEL: 0120-37-5270（平日 9:30-17:30）